



メディカルクリエーションふくしま2020



WEB



『第16回医療機器設計開発・製造に関するオンライン展示情報展』が開催されます。今回は、コロナ禍の状況下でもあり、今回初めてのオンライン（Web）開催となります。

開催日程期間中では、ビジネス交流を、双方向でのオンラインマッチングができます。

また、セミナーや出展者プレゼンテーションもWebで実施されます。

併設開催として『医療と介護のロボット展』も行われます。

今回は、特設Webサイトにより、出展企業のPRは、2021年3月まで継続公開されるなどの新しい取り組みによる展示会となりますので、当機構を含め、是非、アクセスをお願いいたします。

■日時：令和2年10月16日（金）～17日（土）

10:00～16:00

■会場：メディカルクリエーションふくしま2020 特設サイト

URL：<https://fmdipa.jp/mcf/index.php>

■主催：メディカルクリエーションふくしま実行委員会

■問合せ：公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

TEL：024-926-0344 FAX：024-943-4441

E-mail：techno@nm.net6.or.jp

第9回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア

REIFふくしま2020

「再生可能エネルギー先駆けの地」の実現に向けて、REIFふくしま2020

（第9回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア2020）が感染防止対策を講じた上で開催されます。

当機構も出展しますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。



■日時：令和2年10月28日（水）

29日（木）

10:00～17:00

■会場：ビッグパレットふくしま

■出展者：約160企業・団体

■主催：福島県／公益財団法人福島県産業振興センター

■問合せ：公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

TEL：024-947-4400

FAX：024-947-4475

E-mail：techno@nm.net6.or.jp

第7回サステナブル地域づくりフォーラム

～子育て世代を中心として考えるサステナブル地域づくり～

第7回サステナブル地域づくりフォーラムを以下のように開催いたします。

今回は、「子育て世代を中心として考えるサステナブル地域づくり」をテーマに、コーディネーターである日本大学工学部土木工学科・中野和典教授を含め、3人の講師陣による持続可能な地域づくりの取り組み等の他、地域の人々も健康でいられる拠点となることを目指し日本大学工学部の「ロハスの工学」の考えを取り入れ、診療所を建設された、医療法人仁寿会菊池医院 院長 菊池信太郎氏からご講演をいただいた後、菊池医院の視察を行います。皆様、お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

■日時：令和2年10月24日（土） 15:00～

■会場：郡山ビューホテル本館／医療法人仁寿会菊池医院

■内容：

15:00 コーディネーターからの話題提供及び意見交換（郡山ビューホテル）

(1)「ロハスを学ぶ自然系教材としてのアクアポニックスの活用」 講師：日本大学工学部土木工学科 教授 中野和典氏

(2)「健康でいこうよ！一医・食×空間×まちづくり」 講師：日本大学工学部建築学科 教授 浦部智義氏

(3) LOHASの舗装～人と環境に優しいまちづくり～ 講師：日本大学工学部土木工学科 助教 前島拓氏

(4) 持続可能な子どもの生育環境の樹立を目指して～小児科診療所の取り組み～ 講師：医療法人仁寿会菊池医院 院長 菊池信太郎氏

16:30 医療法人仁寿会菊池医院 新診療所見学（徒歩移動）

17:00 現地にて解散

■主催：郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議／日本大学工学部工学研究所

■詳細・お申し込み：チラシ及び下記の申込書をダウンロードし、FAX またはメールでお申込みください。

URL：<https://www.techno-media.net6.or.jp/techno/event/2356/>

■問合せ：公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

TEL：024-947-4400

FAX：024-947-4475

E-mail：techno@nm.net6.or.jp



品川萬里 郡山市長 株式会社エムケー技研訪問

令和2年9月16日(水)に、品川市長が、郡山地域ものづくりインキュベーションセンターに入居する株式会社エムケー技研を訪問しました。

同社が、10月30日に福島ロボットテストフィールドで開催される「ロボテス縁日 ロボット・ドローン大集合」へ出展することを受け、激励のため同社を訪問。諸根理仁代表取締役、古泉賢人最高情報責任者と出展内容等について意見交換を行いました。

郡山市から佐久間産業創出課長が、インキュベーションセンターから吉田インキュベーションマネージャーが同席しました。



<エムケー技研出展内容>

赤外線により非接触で体温測定が可能な装置を出展。会場で検温も行う予定。

令和2年度 ICT 高度利用推進事業 「RPAハンズオンセミナー」開催報告

令和2年9月16日(水)に、郡山地域ものづくりインキュベーションセンター会議室において、近年働き方改革の一環として期待され、また業務効率化の威力から、業界、地域問わず注目を集めている RPA について、ソフトを実際に体験するハンズオンセミナーが開催されました。郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会が主催、公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構が共催し、ソフトバンク株式会社の山本浩己氏を講師に迎え、8名の参加者により開催されました。

セミナーでは、RPA の概要説明の後、RPA 化対象業務の洗い出し、UiPath 社の RPA ソフトの用語、画面の見方、変数の理解、レコーディング機能の使い方、Excel の自動化、データスクレイピングなどを体験し、最後に RPA 化対象作業の再検討を行う 6 時間に及ぶ内容でした。

参加者からは、「日本にくらべると海外ではかなり運用されている」、「プログラミングに近く、まだ難しいと思った」「実習で構造の仕組みがつかめた」「大変興味深く自主的に学習してみたい」など、感想が多く寄せられました。



ものづくりインキュベーションセンター 入居者審査委員会 開催報告

令和2年8月28日(金)に、当機構入居者審査委員会を開催し、延長審査を行い認められました。

【延長】

支援室No.	企業名・代表者	研究開発内容	入居期間
9	株式会社国際情報ネット 代表取締役社長 尾形 廣秋	ロボット及びシステムの研究開発	令和2年10月1日～令和3年9月30日



福内審査委員長挨拶



プレゼンの様子



審査の様子

今月のコラム (技術コーディネーター 井上明博)

先月号からの続き『BCM の基本的な考え方』(その2)の2～3)について掲載致します。



2) ビジネスインパクト分析と重要業務の絞り込み (参考: TRC EYEvol.279 から)

災害など不測の事態によって業務やシステムが停止・中断した場合に、会社の事業に与える影響を分析・評価することです。

- ①重要業務の選択指標は、収益性、市場シェア、成長性、ブランド、顧客への供給責任などを分析。
- ②重要業務に欠かせない経営資源とは、生産活動に不可欠な人員・機械(設備)・材料など。
- ③事象発生時に重要業務が中断する時間は、どの程度までなら許容できるか。

生産活動を支える部門(調達・購買、生産管理、物流、製造、開発・設計、品質管理など)にまで、ブレークダウンし、各業務で許容される中断時間および復旧再開の優先順位を検討します。

3) 被害想定と致命的損害から免れるための事前対策

修復や再調達に時間がかかる設備や復旧時間を引き延ばす要素を予め特定し、有効なリスク対策を講じておく。シナリオアプローチから被害を想定することが有効。例えば「工場周辺で震度6強相当の揺れ」「河川の氾濫による2mの浸水」など。絞り込み過ぎると実際の被害状況が想定と異なった場合の対応がうまく行かない恐れがあるので、「最も起こり得るケース」「被害が軽微なケース」「最悪のケース」など、いくつかのシナリオで想定される事前対策について検討していきます。

今回は『BCM の基本的な考え方』(その3)の4～6)について掲載致します。

発行元

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構/郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

TEL 024-947-4400 FAX 024-947-4475 E-mail techno@nm.net6.or.jp

郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

TEL 024-926-0344 FAX 024-943-4441 E-mail monodukuri@nm.net6.or.jp

